アフターサービスについて

1. 保証書

● 保証書は別途添付されています。
保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

● 保証期間中は
商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。

● 保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

● デジタルオーディオプレーヤーの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

● アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、保証書に記載の小泉成器株式会社「サービスセンター」にお問い合わせください。

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

小泉成器株式会社 本　社　〒541-0051　大阪市中央区備後町3丁目3番7号

ナビダイヤル（全国共通番号） TEL. 0570(07)5555
TEL.06(6262)3561
FAX.06(6264)5170



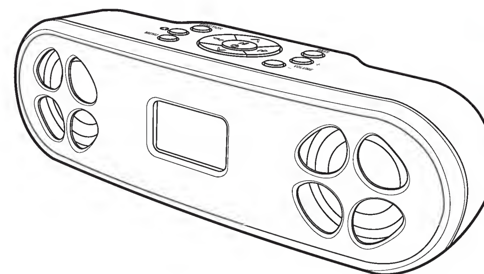
ナビダイヤルの受付時間
平日9:00〜17:30(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

SOUNDLOOK　家庭用

デジタルオーディオプレーヤー

SDD-3000/SDD-3100

取扱説明書（保証書別途添付）



このたびはサウンドルックデジタルオーディオプレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
なお、お読みになられたあとも、保証書とともにお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保存してください。

目　次

小泉成器株式会社

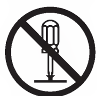
安全上のご注意(必ずお読みください)

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、使用者が障害を負ったり、物的損害の可能性があるもの

絵表示と絵表示の意味



⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

■誤った取扱をすると、内蔵メモリ内のデータやファイルが破損したり失われる可能性がありますので、大切なデータやファイルは事前にバックアップをしておいてください。

■本製品を使用したことによるデータの破損または消失、修理によるデータの損失などの補償については、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

※お読みになられた後は、お使いになる方がいつも見られるところに必ず保存してください。

安全上のご注意

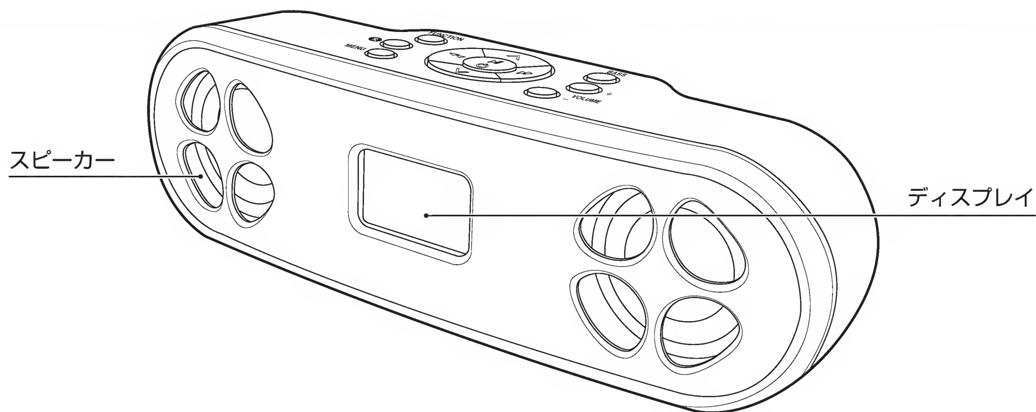
⚠警告

	**煙や異臭、異音が出たり、落下や破損したとき、また機体内部に水や異物が入ったときは本体のスイッチを切り、使用を中止する** そのまま使用すると、事故や故障の原因となります。 内部の点検および修理は販売店または弊社「サービスセンター」にご依頼ください。
	**分解・修理・改造はしない** 事故や故障の原因となります。 内部の点検・修理は販売店または弊社「サービスセンター」にご依頼ください。
	**自動車やバイク・自転車の運転中は使用しない** 運転の妨げとなりますので絶対おやめください。
	**風呂場では使用しない、雨天や水辺での使用時は特に注意する** 機器内部に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。 事故や故障の原因となります。
	**機器内部に金属類や燃えやすいものなどを差込んだりしない** 事故や故障の原因となります。
	大音量で長時間音楽を聞き続けない 聴力障害などの原因となることがありますのでご注意ください。
	再生する前に、音量(ボリューム)を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	**置き場所に注意** ・油煙や湯気が当たるような場所に置かない ・異常に温度が高くなるところに置かない 特に、直射日光の当たる高温の自動車内には置かない ・湿度やほこりの多い場所には置かない

⚠注意

	**本体のお手入れは、やわらかい乾いた布でふく** 水や液体洗剤やシンナー・ベンジンなどは使わないでください。

各部のなまえ

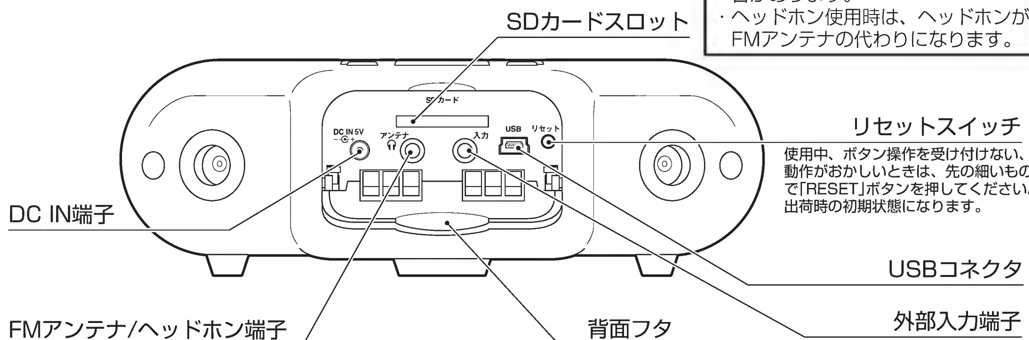


背　面

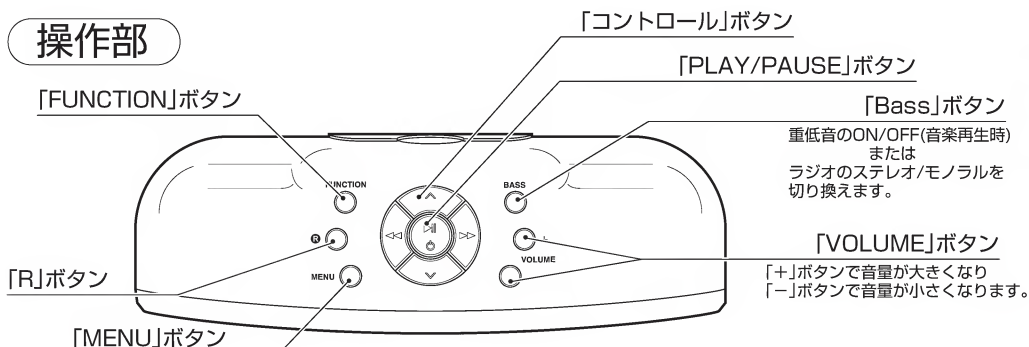
※図は背面フタを開いた状態です。

ご注意

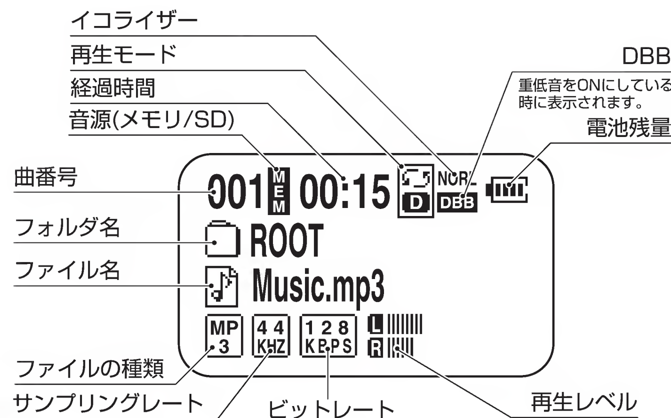
・一部のSDカードを認識できない場合があります。
・ヘッドホン使用時は、ヘッドホンがFMアンテナの代わりになります。



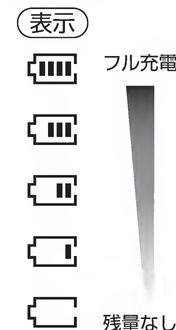
操作部



ディスプレイ

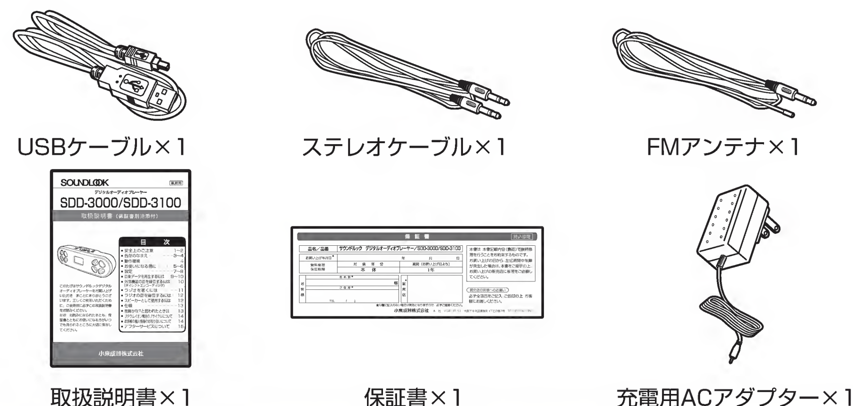


<電池残量表示について>



● "□"または"充電してください"と表示されたら、付属の充電用ACアダプターで充電してください。

付属品



USBケーブル×1　ステレオケーブル×1　FMアンテナ×1

取扱説明書×1　保証書×1　充電用ACアダプター×1

動作環境

本機は、下記の環境のコンピュータと接続することができます。
OS：Microsoft Windows XP
CPU：Intel Pentium 2以上
メモリ：64MB以上
インターフェイス：USB1.1

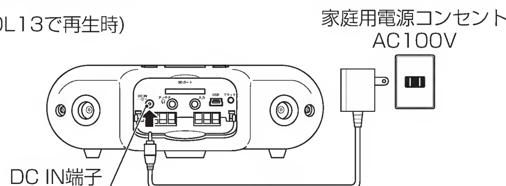
Microsoft、Windowsのロゴは米国およびその他の国におけるMicrosoft　Corporationの商標または登録商標です。

お使いになる前に

充電する

本機には充電式電池が内蔵されています。本機を購入直後や、ディスプレイに“充電してください”と表示されたら、付属の充電用ACアダプターを使用して充電してください。

- 付属の充電用ACアダプター(SAD-9008)はSDD-3000/3100専用です。他の製品には使用しないでください。
- フル充電に約5時間かかります。
- フル充電すると、約10時間連続再生できます。(VOL13で再生時)



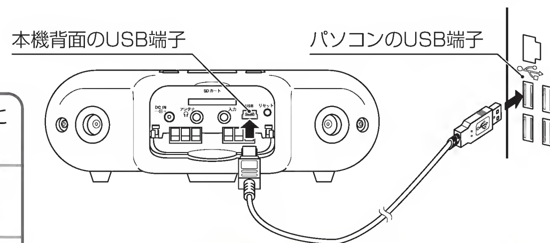
電源を入れる

「PLAY/PAUSE(▶II)」ボタンを押すと“SOUND LOOK”が表示され、電源が入ります。

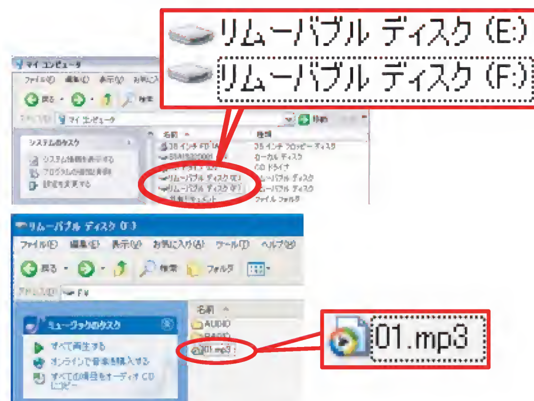
電源を切る

「PLAY/PAUSE(▶II)」ボタンを長押し(約2秒)すると、“SEE YOU”が表示され、電源が切れます。

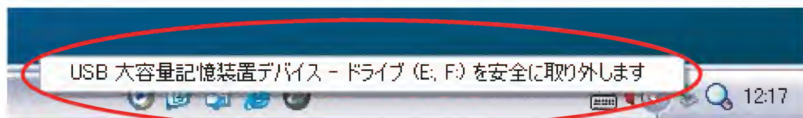
音楽データを転送する



1	付属のUSBケーブルを用いて、本機とパソコンを接続する。
2	「マイコンピュータ」→「リムーバブルディスク(注)」を開く。
3	「ROOT」フォルダ(リムーバブルディスク)の中に音楽ファイル(MP3/WMA)をコピーする。 本機で再生できるデータはMP3/WMA形式のみです。録音された曲を削除するときは、音楽ファイルを削除してください。
4	デスクトップ右下にある“ハードウェアの安全な取り外し”をクリックして、“USB大容量記憶装置デバイスードライブ(注)を安全に取り外します。”をクリックする。



ハードウェアの

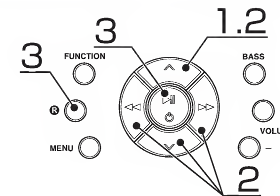


ご注意

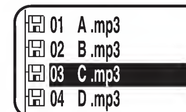
ドライブ名はお使いのパソコンの環境により異なります。
パソコン側に2種類のドライブ名が表示されます。

本機で音楽ファイルを削除する

1	再生停止中に、「コントロール(∧)」ボタンを押して電源を入れる。
2	「コントロール」ボタンを押して、削除したい音楽ファイルまたはフォルダを選択する。 ● 上の階層のフォルダに移動するには、「コントロール(◀◀)」ボタンを、下の階層のフォルダに移動するには、「コントロール(▶▶)」ボタンを押します。 ● 「コントロール(∨)(∧)」ボタンを押して、同じフォルダ内の音楽ファイルを選択します。
3	「R」ボタンを押して、「PLAY/PAUSE(▶II)」ボタンを押す。 ● 音楽ファイルまたはフォルダの削除をやめるときは、「R」ボタンを押します。



《ディスプレイ》



［ファイル削除］
03 C.mp3
削　除：「PLAY」
キャンセル：「R」

- 「AUDIO」および「RADIO」フォルダは本機では削除できません。
- フォルダの中にファイル／フォルダがある場合、そのフォルダは本機では削除できません。
  あらかじめ削除したいフォルダ内のファイルを全て削除してください。

設定

再生停止中に「MENU」ボタンを押すことにより、本機の設定を行うことができます。
「コントロール(∨)(∧)」ボタンを押して項目を選択します。

コントラスト

ディスプレイのコントラストを調節します。
レベル00～レベル20まで設定できます。

設 定
コントラスト
00
<<:>>

設定の初期化

本機の設定を工場出荷時の設定にします。「PLAY/PAUSE(▶II)」ボタンを押し、本機を再起動すると設定が初期化されます。

設 定
設定の初期化
実行:「PLAY」

製品情報

本機のメモリ残量とファームウェアのバージョンを表示します。

設 定
製品情報
残量 0.33M
Ver V0.1

オートパワーオフ

自動的に電源を切るまでの時間を設定します。
30秒／2分／10分／OFF、から選択できます。

設 定
オートパワーオフ
2分
<<:>>

ライト点灯時間

液晶バックライトの点灯時間を設定します。
ON／10秒／OFF、から選択できます。

設 定
ライト点灯時間
ON
<<:>>

再生モード

音楽の再生方法を設定します。
1曲再生(1)／1曲リピート(1)／フォルダ再生(D)／フォルダリピート(D)／全曲再生(A)／全曲リピート(A)、から選択できます。

- この設定は「R」ボタンを押して設定変更することもできます。

設 定
再生モード
フォルダ再生
<<:>>

再生スピード

音楽の再生スピードを設定します。90%～110%まで2%きざみで選択できます。

設 定
再生スピード
100%
<<:>>

フォーマット

本機の内蔵メモリを初期化します。
クイックフォーマット／ノーマルフォーマットから選択できます。フォーマットを実行するには、「PLAY/PAUSE(▶II)」ボタンを押します。

ご注意

フォーマットを行うと、その時保存されているデータは全て消失されますので、あらかじめご了承の上、フォーマットを行ってください。

設 定
フォーマット
クイック
<<PLAY>>

トラックモード

外部機器から録音する時、曲間を検出して自動的に曲番をつけます。(ON時)
ON/OFFから選択できます。

ご注意

曲の途中で極端に音声が小さい部分がある場合、「トラックON」時に曲が途中で分割されることがあります。その場合は、「トラックOFF」に切り換えて録音してください。

設 定
トラックモード
ON
<<:>>

録音音質

外部機器から録音する時の録音音質を設定します。
ビットレートを128kbps／96kbps／80kbpsから選択できます。ビットレートを高く設定すると音質は良くなりますが、録音できる時間が少なくなります。

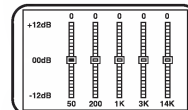
設 定
録音音質
96kbps
<<:>>

イコライザー

イコライザーの設定をします。
NORMAL／ROCK／JAZZ／CLASSIC／POP／USER、から選択できます。
"USER"に設定している場合のみ、以下のようにしてより細かい設定を行うことができます。
「コントロール(◀◀)(▶▶)」ボタンを押して設定したい周波数帯域を選び、「VOLUME(+)(−)」ボタンを押して再生レベルを調整します。

- 細かい設定を行うと、USER以外のモードに設定していても、USERモードに切り換わります。

設 定
イコライザー
ROCK
<<:>>



オートプリセット

受信可能な放送局を検索し、自動的にそれらの放送局を登録します。また登録した放送局は、プリセット番号を選ぶことで簡単に呼びだすことができます。(→P.11)

- FMラジオ選択時のみ表示されます。
- あらかじめFMアンテナを接続しておいてください。

設 定
オートプリセット
実行:「PLAY」

SAVE FONT

本機設定用のメニューです。
通常は使用しません。

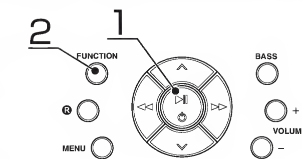
設 定
SAVE FONT
実行:「PLAY」

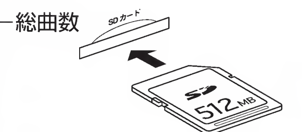
音楽データを再生するには

本機の内蔵メモリやSDカードに記録した音楽データ(MP3/WMAファイル)を再生することができます。

1	「PLAY/PAUSE(▶II)」ボタンを押して電源を入れる。 ● SDカードの音楽データを再生するには、SDカードスロットにSDカードを差し込みます。
2	「FUNCTION」ボタンを押し「コントロール(∨)(∧)」ボタンで再生したい音源(メモリ/SD)を選択して「PLAY/PAUSE(▶II)」ボタンを押す。 ● 内蔵メモリに記録した音楽データを再生するときは"メモリ再生"を、SDカードに記録した音楽データを再生するときは"SD再生"を選択します。 ● ディスプレイに総曲数が表示されます。
3	「PLAY/PAUSE(▶II)」ボタンを押す。 ● 曲名順に、選択した音源内の音楽データを再生します。

《ディスプレイ》





総曲数

001 00:05 ROOT Music.mp3

2 1 FUNCTION BASS MENU VOLUME

● 一時停止するには「PLAY/PAUSE(▶II)」ボタンを押します。

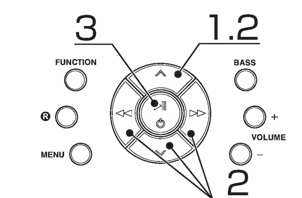
● SDカードは文字が書かれている面を上に向けて、SDカードスロットに差し込みます。

● お好みの曲を探すには

1	再生停止中に、「コントロール(∧)」ボタンを押す。
2	「コントロール」ボタンを押して、お好みの曲を選択する。 ● 上の階層のフォルダに移動するには、「コントロール(◀◀)」ボタンを、下の階層のフォルダに移動するには、「コントロール(▶▶)」ボタンを押します。 ● フォルダ上で「PLAY/PAUSE(▶II)」ボタンを押すと、下の階層のフォルダに移動します。 ● 「コントロール(∨)(∧)」ボタンを押して、同じフォルダ内の音楽ファイルを選択します。
3	「PLAY/PAUSE(▶II)」ボタンを押す。 ● 選択した曲の再生を始めます。

《ディスプレイ》

001 04:11 Total 023 ← 総曲数



002 00:01 ROOT 02 B .mp3

3 1.2 2

曲の頭を探す(スキップ)

● 音楽データ再生中に「コントロール(◀◀)(▶▶)」ボタンを押すと、前後の曲の頭出しができます。
「◀◀」・・・・演奏中の曲の頭に戻る。
(2回目以降は押すたびに前の曲の頭に戻る。)
「▶▶」・・・・次の曲の頭に進む。

● 演奏停止中に曲を探す。
「コントロール(◀◀)(▶▶)」ボタンを押す。

1回押すごとにそれぞれ曲の頭に移動します。聴きたい曲の番号を選んだら、「PLAY/PAUSE(▶II)」ボタンを押して演奏を始めます。

早送り・早戻しをするには

● 早送り
演奏中に「コントロール(▶▶)」ボタンを押し続けると、その間早送りします。

● 早戻し
演奏中に「コントロール(◀◀)」ボタンを押し続けると、その間早戻しします。

● ボタンから指を離すと通常の演奏に戻ります。

ご注意

● 再生できるデータはMP3形式とWMA形式です。WAVなど、別のファイル形式には対応していません。
● 一部のSDカードで再生できない場合があります。

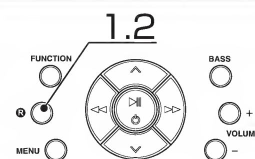
A–Bリピートについて

曲の任意の箇所を指定して、その間をリピート演奏します。

1	音楽再生中に繰り返したい部分の最初の位置で「R」ボタンを長押しする。 "A▶"が表示されます。
2	繰り返したい部分の最後の位置で「R」ボタンを長押しする。 "A▶B"が表示されます。

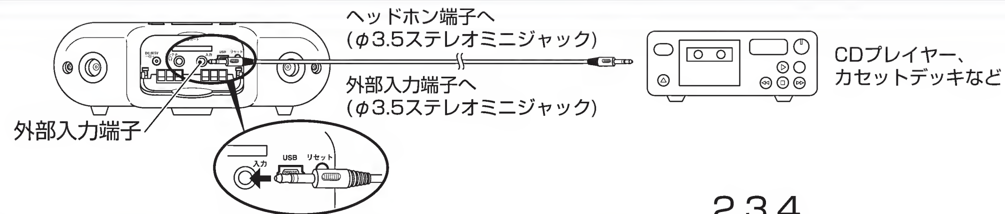
《ディスプレイ》

001 00:32 ROOT Music.mp3



● A–Bリピートを解除するには、「PLAY/PAUSE(▶II)」ボタン、または「R」ボタンを押します。

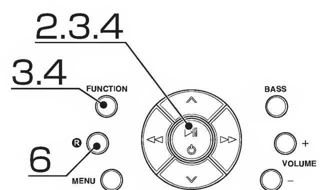
外部機器の音を録音するには(ダイレクトエンコーディング)



1	付属のステレオケーブルを用いて、本機と外部機器を接続する。
2	「PLAY/PAUSE(▶II)」ボタンを押す。
3	「FUNCTION」ボタンを押して、録音したい場所(メモリ/SD)を選択し、「PLAY/PAUSE(▶II)」ボタンを押す。 ● "メモリ再生/SD再生"の画面になります。 ● 左上に録音したい音源名が表示されていることを確認してください。
4	「FUNCTION」ボタンを押して"録音"を選択し、「PLAY/PAUSE(▶II)」ボタンを押す。 ● ディスプレイに録音可能時間が表示されます。 ● ディスプレイに"接続エラー"と表示される場合は、ステレオケーブルが外れていないか確認してください。
5	外部機器側の演奏を始める。
6	本機の「R」ボタンを押す。 ● 録音が始まります。 ● 録音を一時的に停止させるには、「PLAY/PAUSE(▶II)」ボタンを押します。 ● 録音を停止させるには「R」ボタンを押します。 ● 録音した音楽データは、"メモリ再生/SD再生"→"AUDIO"フォルダ内にWMA形式で作成されます。

2.3.4 3.4 6

《ディスプレイ》



●スタンバイ 残り時間 00:49:18 STERO 44KHZ 096KBPS

●録音中 AUDIO 03 00:02:11 ← 録音経過時間 00:47:07 ← 録音可能時間

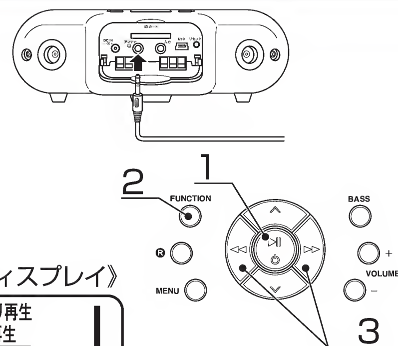
● ファイルを削除する→P.6
● 録音音質を変更する→P.8

ご注意

● 外部機器から録音するときは、外部機器で適切な音量に調節してください。音量が大きすぎると音質が劣化します。
● ディスプレイに"接続エラー"と表示される場合は、ステレオケーブルが外れていないか確認してください。
● 録音する前に予じめ音量を調節しておいてください。録音中はスピーカーから音が出ません。

ラジオを聴くには

● 本機でFMラジオをお聴きになる前に、本機背面のFMアンテナ/ヘッドホン端子に、付属のFMアンテナを接続してください。



1	「PLAY/PAUSE(▶II)」ボタンを押して電源を入れる。
2	「FUNCTION」ボタンを押して"FMラジオ"を選択する。

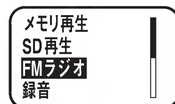
● 手動受信する場合

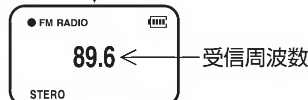
3	「コントロール(◀◀)(▶▶)」ボタンを押して、お好みの放送局に合わせる。 ● FMステレオ放送を聴くときは、「Bass」ボタンを押して、ディスプレイに"STEREO"を表示させます。

● 自動受信する場合

3	「コントロール(◀◀)(▶▶)」ボタンを長押しする。 ● 上記の操作を繰り返して、聴きたい放送局に合わせる。

《ディスプレイ》

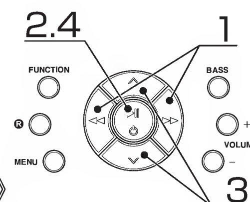




プリセットの使いかた

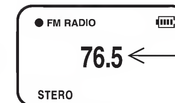
お好みの放送局を20局まで記憶させておき、簡単に呼びだすことができます。

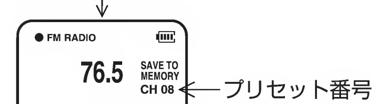
● 放送局を登録する

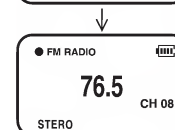


1	FMラジオ受信時に、「コントロール(◀◀)(▶▶)」ボタンを押し、ディスプレイに登録したい放送局を表示させる。
2	「PLAY/PAUSE(▶II)」ボタンを押す。 "SAVE TO MEMORY CH**"と表示されます。
3	「コントロール(∨)(∧)」ボタンを押し、登録したいプリセット番号を選択する。
4	再度「PLAY/PAUSE(▶II)」ボタンを押し、確定させる。
5	他の放送局を登録するには、上記1～4の操作を繰り返す。 ● 新しい局を記憶させると、その番号に記憶されていた前の局は消去されます。

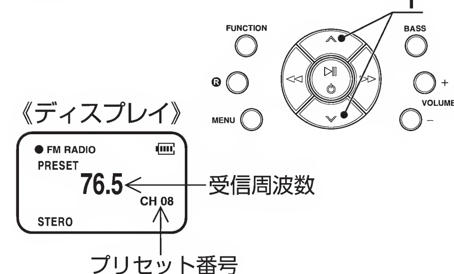
《ディスプレイ》







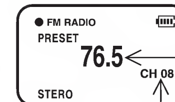
● 登録した放送局を選択する



1	FMラジオ受信時に、 「コントロール(∨)(∧)」ボタンを押し、お好みのプリセット番号に合わせる。 ● プリセット番号と対応した放送局の周波数が表示されます。

"設定"ー"オートプリセット"(→P.8)で登録された放送局も同様の手順で受信します。

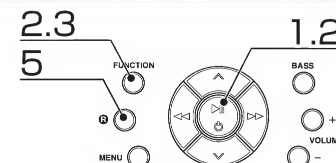
《ディスプレイ》



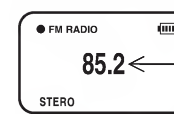
ラジオの音を録音するには

1	「PLAY/PAUSE(▶II)」ボタンを押す。
2	「FUNCTION」ボタンを押して、録音したい場所(メモリ/SD)を選択し、「PLAY/PAUSE(▶II)」ボタンを押す。 ● "メモリ再生/SD再生"の画面になります。 ● 左上に録音したい音源名が表示されていることを確認してください。
3	「FUNCTION」ボタンを押して"FM ラジオ"を選択する。
4	録音したい放送局に合わせる。→P.11
5	「R」ボタンを押す。 ● 録音が始まります。 ● 録音可能時間が表示されます。 ● 録音を一時停止させるには、「PLAY/PAUSE(▶II)」ボタンを押します。 ● 録音を停止させるには、「R」ボタンを押します。 ● 録音した音楽(ラジオ)データは"メモリ再生/SD再生" →"RADIO"フォルダ内にWMA形式で作成されます。

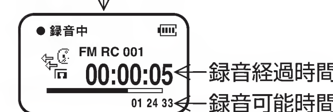
● 音楽ファイルを削除する→P.6
● 録音音質を変更する→P.8



《ディスプレイ》



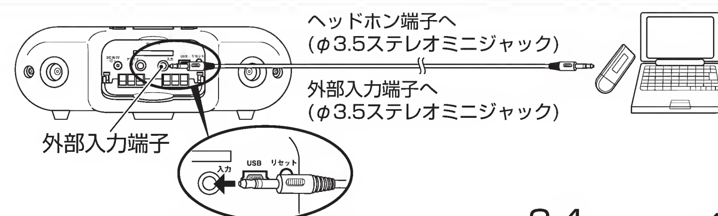
受信周波数

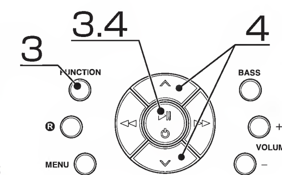


ご注意

電波状態が悪い場所では、正常にラジオの録音ができない場合があります。

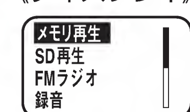
スピーカーとして使用するには



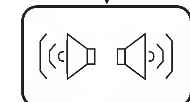


1	接続する機器の音量を小さくしておく。
2	ステレオケーブルの一方を本機の外部入力端子に接続し、もう一方を接続する機器のヘッドホン端子につなぐ。
3	「PLAY/PAUSE(▶II)」ボタンを押し、「FUNCTION」ボタンを押す。
4	「コントロール(∨)(∧)」ボタンで"スピーカー"を選択し、「PLAY/PAUSE(▶II)」ボタンを押す。 ● ディスプレイに"接続エラー"と表示される場合は、ステレオケーブルが外れていないか確認してください。
5	接続した機器の演奏を始め、接続した機器と本機の音量を調節する。

《ディスプレイ》







仕様

品番	SDD-3000／SDD-3100
サイズ	185(W)×60(D)×60(H)mm
質量	約350g
メモリ	内蔵メモリ 256MB(SDD-3000)／512MB(SDD-3100)
インターフェース	USB1.1
再生対応ファイル形式	MP3／WMA(DRM非対応)
録音ファイル形式	WMA
SNR	80dB以上
受信周波数	76.0～108.0MHz
対応OS	Microsoft Windows XP
充電時間	約5時間(フル充電時)
電池持続時間	約10時間(VOL13で再生時)
出力端子	ヘッドホン端子(FMアンテナ端子兼用)
入力端子	DC IN端子、FMアンテナ端子(ヘッドホン端子兼用)、外部入力端子
スピーカー	4.0cm(4Ω)×2
実用最大出力	3.0W+3.0W(JEITA)
液晶画面	バックライト付 LCD
電源	リチウムイオン電池、充電用ACアダプター(SAD-9008)
付属品	充電用ACアダプター×1、USBケーブル×1、ステレオケーブル×1、FMアンテナ×1、取扱説明書×1、保証書×1

●ACアダプターSAD-9008仕様

入力	AC100V 50/60Hz共用
出力	DC5V 2000mA
プラグ形状	直径4.0mm

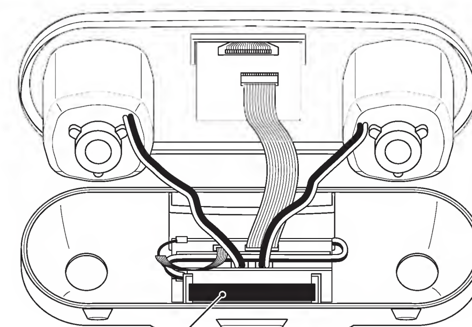
故障かな？と思われたときは

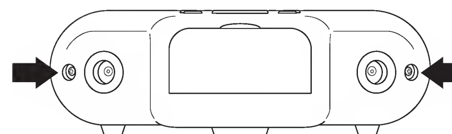
故障かな？と思われたときは以下の点をお調べください。
それでもなお異常があるときは、お買上げの販売店にご相談ください。

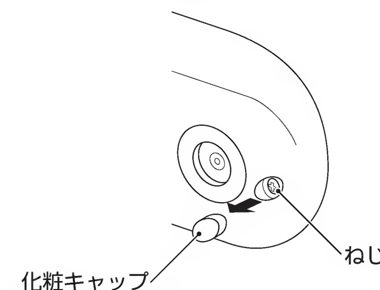
症状	チェックポイント	処置のしかた
電源が入らない。	バッテリーが切れていませんか？	付属のACアダプターで充電してください。
音が聞こえない。	音量が最小になっていませんか？	適切な音量に調節してください。
	バッテリーが切れていませんか？	付属のACアダプターで充電してください。
	データ形式は正しいですか？	本機で再生できるデータはMP3/WMAです。MP3/WMA形式のファイルを使用してください。
データの転送がうまくいかない	バッテリーが切れていませんか？	付属のACアダプターで充電してください。
	メモリー容量に余裕がありますか？	不要なデータを削除してください。
	USBケーブルは正しく接続されていますか？	正しく接続されているか確認してください。
録音がうまくできない。	メモリー容量に余裕がありますか？	不要なデータを削除してください。
	ステレオケーブルは正しく接続されていますか？	正しく接続されているか確認してください。
ボタン操作をうけつけない。		リセットスイッチを押して初期状態にし、もう一度試してください。
"接続エラー"が表示される	ステレオケーブルは正しく接続されていますか？	正しく接続されているか確認してください。

リチウムイオン電池のリサイクルについて

この商品はリチウムイオン電池を使用しております。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。リチウムイオン電池の交換およびご使用済みの商品の破棄に際しては、リチウムイオン電池を取り外してリサイクルにご協力ください。







- 本体背面の化粧キャップ(2個)、およびねじ(2個)をすべて外して、中央下部にあるリチウムイオン電池を取り外してください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

<利用目的>
お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。
尚、この目的のために小泉成器株式会社及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>
上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。